

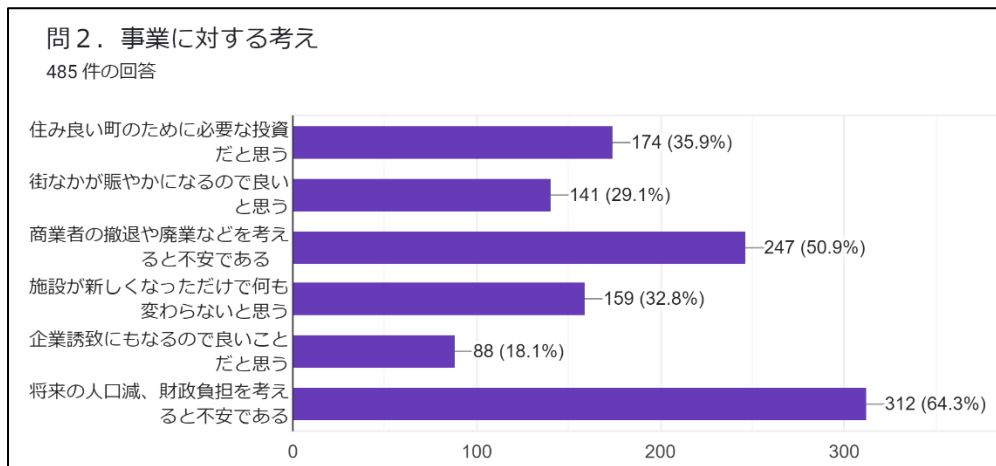
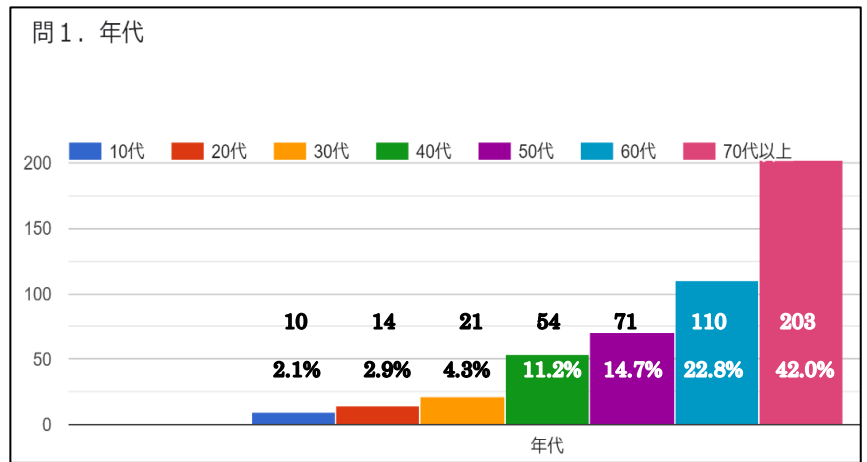
# まちなか再生事業意向調査の結果について

津別町 住民企画課

広報9月号に折り込み全戸配布いたしました「続・まちなか再生事業について」の中で、町民の皆様へ事業に対する意向調査を実施したところですが、その結果についてお知らせいたします。

今回の調査に回答いただいた総数は507名分で、年代別では右表のとおりです。高齢になる

ほど回答者が多いことがわかります。これは、高齢化率(約45%)が高いことも関係しているようですが、年代別に事業への関心度に違いがあることもうかがえます。なお、回答者の性別は男性201名、女性191名、その他(未記入含む)115名となっています。

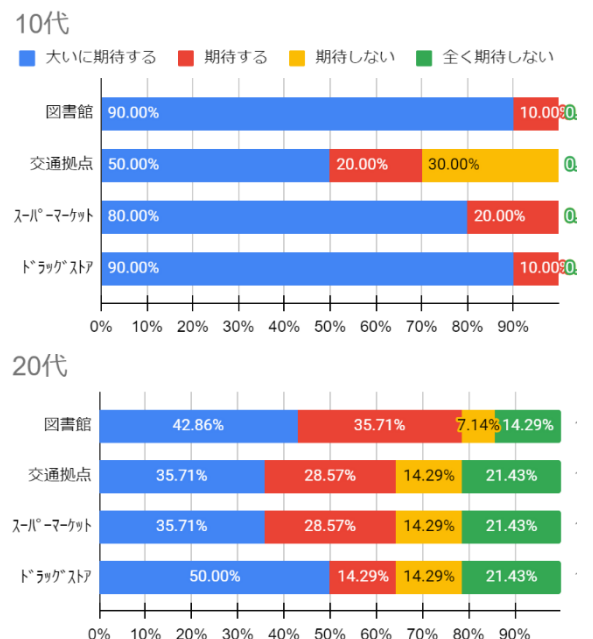


事業に対する考え方を問う項目では、将来の人口減や町の財政に対して不安をもつ方が多いことがわかります。町は常に健全財政に努めており、まちなか再生事業にあたっては着実に基金の積み立て

を行ってきており、また、少しでも町の持ち出しが少なくなるような財源確保を進めているところです。このことが十分に伝わるよう今後とも広報等を活用し、お知らせしてまいります。

## ●期待度と年代の関係

意向調査の中で、各施設への期待度を4段階で訊く設問では、年代により施設への期待度が大きく違う結果となりました。傾向としては、若い世代で各施設に対する期待度が高く、30代と50代では各施設とも拮抗しており、40代ではドラッグストアが拮抗しているものの、他の施設は期待する回答が7割を超えていました。60代ではドラッグストアの期待度は低く、他の施設では期待するとの回答が6割を超え、70代以上では60代と似た傾向ですが、図書館については「期待しない」が「期待する」を上回っていました。



大まかに分けると 50 代以下では、30 代の交通拠点を除きすべての施設で「期待する」が「期待しない」を上回り、60 代と 70 代以上ではドラッグストアの期待度がともに約 35%と低くなっています。

### ●期待度の低い項目に対する分析

図書館、交通拠点、スーパーマーケットでは、すべての年代で「期待する」との回答が 50%をおおむね上回っていますが、前述のとおり例外的に 30 代の交通拠点、70 代以上の図書館で半数を切る結果となりました。

30 代の交通拠点では、マイカー移動が多い世代であることも考えられます。しかしながら同様に前後の年代である 20 代と 40 代では、比較的高い期待度があることから、サンプル数が 20 人と少ないことによる、偏りがでたのではないかと推測されます。

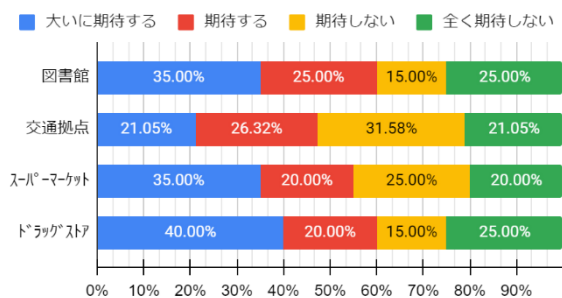
70 代以上における図書館の期待度の低さは、意外な結果となりましたが、図書と触れ合うことが少ないというよりは、現状の図書室で満足している、又は図書館を利用する機会がない世代が多いことも推察されます。

ドラッグストアでは、年代で傾向がはっきりと表れましたが、70 代以上では期待度が 3 割を切る結果となりました。これは、様々な要因が考えられますが、将来の財政負担に対する不安を挙げる声が比較的多くなっています。また新聞折込等で配布されたチラシ類で、特にドラッグストアに焦点を当てた賛成・反対のアンケートを実施しているとの記載や街宣活動があったことも影響を与えたと推測され、調査後の配布物でも同様に誤った解釈が見受けられます。

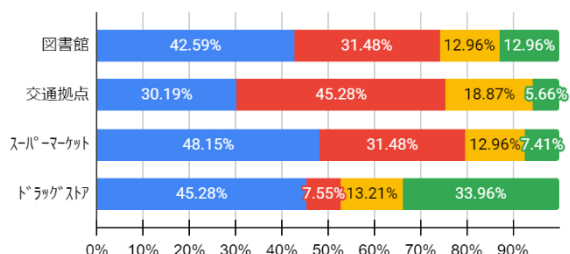
### ●実人口による期待度

意向調査は、各年代の実人口と実際の回答数に差が生じています。傾向としては、若い世代ほど、実人口に対する回答数は少なく、40 代以上になると実人口の 11%から 15%くらいが回答しており、比較的近い

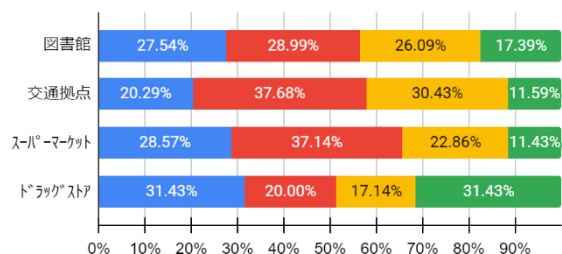
#### 30代



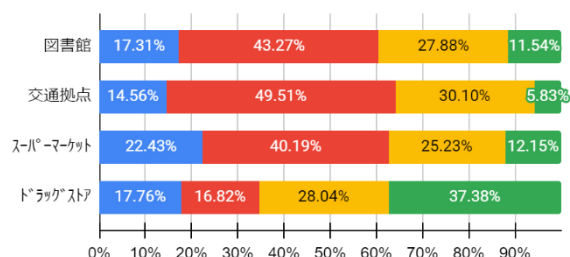
#### 40代



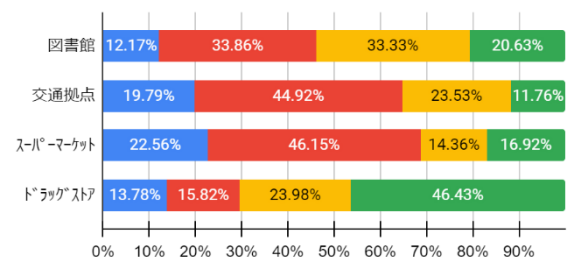
#### 50代



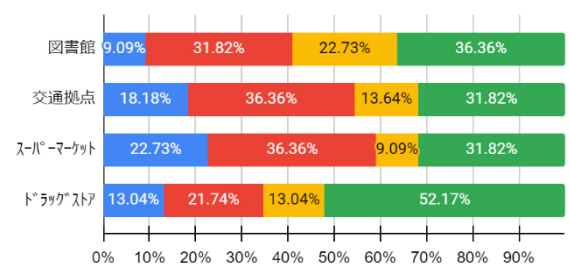
#### 60代

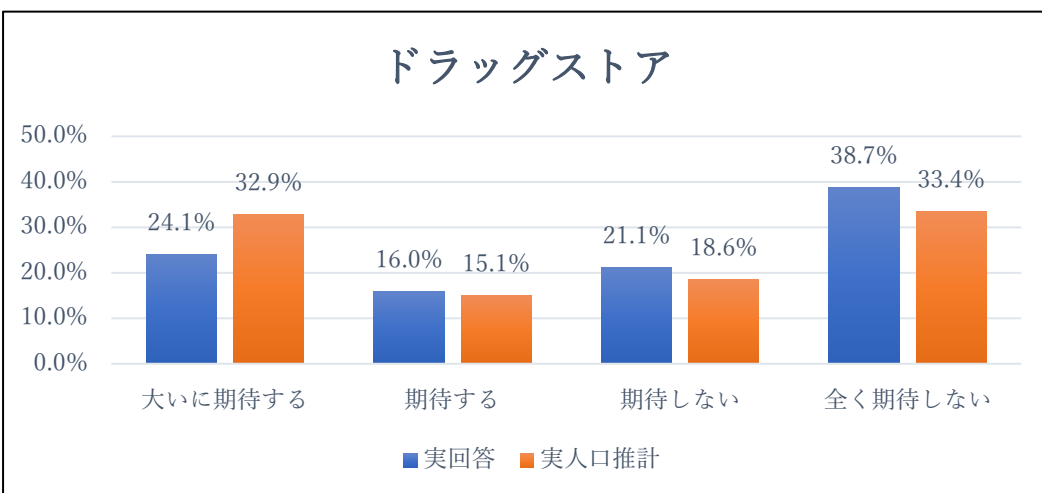
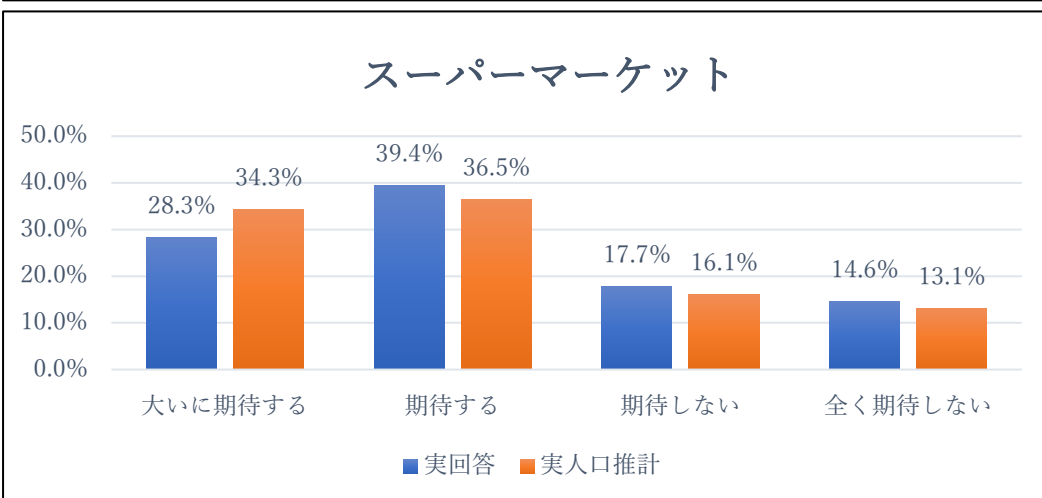
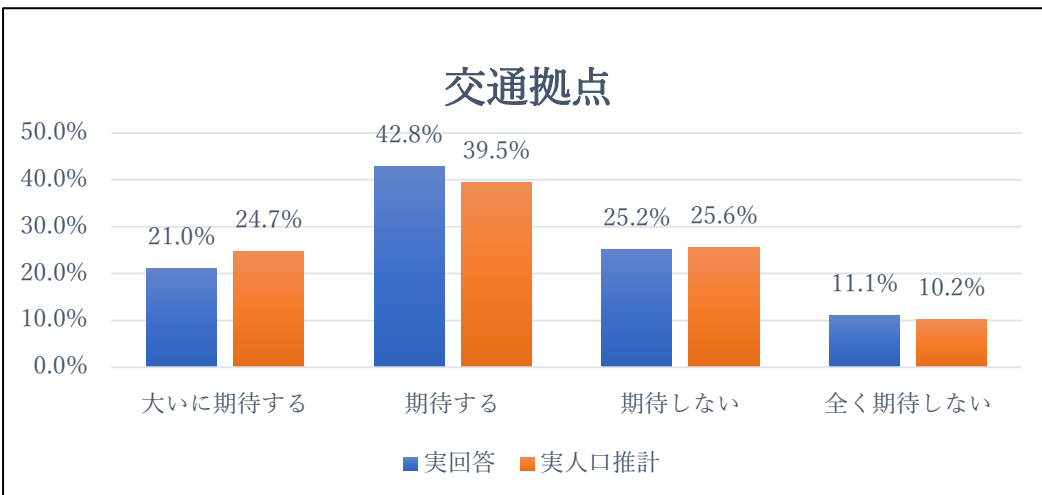
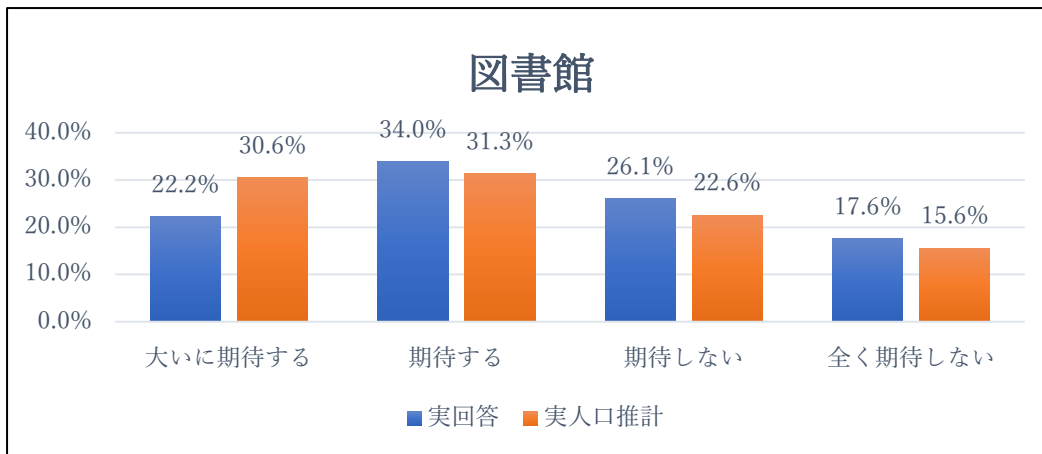


#### 70代以上



#### 無回答





回答率になります。これは、40代以上の方は事業に対する関心度が、30代以下より高いことが伺えます。

左のグラフは、実際の回答数での期待度と実人口で補正した期待度を比較したものです。若い世代ほど期待度が高くなる反面、回収率が低くなる傾向があるため、実際の回答数より期待度が高くなります。

見方としては、橙色のグラフが青色を上回っている場合は、若い世代の声が大きい項目となり、逆に青色のグラフが橙色を上回っている場合は、年配者の声の大きい項目となります。

図書館、スーパーマーケット、ドラッグストアでは若い人たちの期待度が高く、同様に高齢者ではドラッグストアへの期待度が低くなっています。

#### ●意向調査を受けての町の考え方

傾向としては先に述べてきたとおりですが、期待度のうちドラッグストアに関しては年代による相違が顕著となりました。

また、記述意見では、将来の財政負担に対する心配や次世代へ借金を残さないで欲しいとの意見が、年配の方に多くありました。このことは、事業を進めるにあたっての手法が充分伝わらなかったものと考えられます。それらについては、町としても今後は、もっとわかりやすく伝えていかななくてはならない大切な課題として捉え、今後も予定される住民との懇談の場や、配布物などで広くお知らせし、理解を得る努力を行ってまいります。

財政不安と同様に、税金が上がる、保険料や公共料金が値上げされると誤解する町民も多くいることが、読み取れました。しかし、まちなか再生事業の実施による値上げはありえず、正しく理解されるよう努めていく必要があると考えます。

期待度を賛成、反対と捉えている住民も多くいると思いますが、まちなか再生は過疎地にとって必要な事業であり、この事業に対する理解度を上げていく取組を行ってまいります。

調査結果では、高齢者を中心にドラッグストアへの期待度が低いことから、熟慮を重ね出店可能と判断されたドラッグストア側とも、本結果について共有し、可能であれば来町を願い、直接住民と懇談できる場が設けられることを提案していく考えです。

財政問題以外にも、撤退の懸念など多くのリスクにも対応するよう、関連事業者と共に知恵を出し合い、検討を続けていきます。

最後に、これで意向調査の分析を終わらせることなく、今後の事業実施に関する合意形成を円滑に進めるための、重要な資料と位置付け、引き続き情報の発信と収集に努めてまいります。

#### ●ホームページでは「まちなか再生事業」に関する情報を掲載・更新していきます

これまでも「まちなか再生事業」につきましては、広報やまちづくり懇談会など、進捗や事業内容について説明する機会を設けてきましたが、まだまだ十分に町民の皆様に伝えきれていないことが多くあることから、町のホームページでも随時更新しながら情報発信に努めてまいります。

ホームページへのアクセスは下記の URL を入力するか、QR コードをご利用ください。

[https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/20machizukuri/sousei/tsubetsu\\_shigaichi\\_sougousaisei.html](https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/20machizukuri/sousei/tsubetsu_shigaichi_sougousaisei.html)



お問い合わせ

津別町役場 住民企画課 企画係

電話：0152-77-8374